

高野山大学 平成24年度の3つの改革

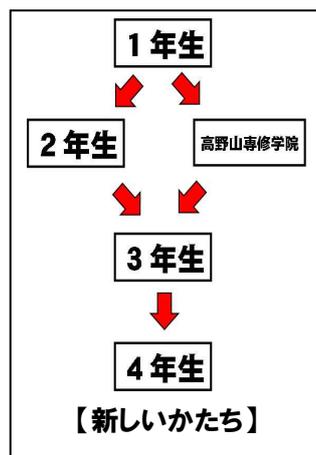
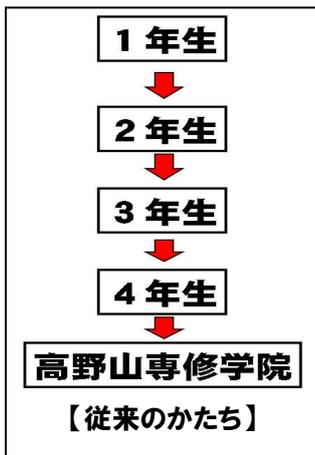


弘法大師空海が修行の道場として開創された高野山。その高野山にある高野山大学は、平成23年度に創立125周年を迎えました。

世界で唯一の“密教学科”を有する高野山真言宗の最高教育機関である高野山大学は、弘法大師の教えに基づいた様々な“学び”を追求することのできる大学です。

1. 高野山大学で学びながら僧侶になる！—高野山専修学院との連携

数ある真言宗の修道院（修行道場）の中でも、特に高い評価を得ている高野山専修学院。この高野山専修学院では、毎年80名近い修行僧が真言宗の僧侶になるため、1年間の共同生活をしながら勉強や修行に励んでいます。



高野山大学では、この高野山専修学院で学ぶ授業や実習を、高野山大学文学部密教学科2年生の科目として単位認定する制度を、平成24年度からスタートします。

多くの学生が、大学に4年間通ったあと、さらに高野山専修学院で1年間かかるところを、この制度により、高野山大学の学生は、希望すれば高野山専修学院での1年間を含めた4年間で大学を卒業し、真言宗の僧侶になることができます。

2. 高野山の秘宝に触れよう！—密教美術クラブ

まもなく開創1200年を迎える高野山。その高野山のお寺が代々受け継いできた、貴重な仏像や宝物の多くは、高野山霊宝館という博物館・宝物館に収蔵されています。これらの美術品をひと目見ようと、日本中あるいは世界中の人々が、高野山に足を運んでいます。



高野山大学では、平成24年度から“密教美術クラブ”を創設し、高野山霊宝館の密教美術に触れる機会を提供します。



高野山でしか見ることのできない密教美術を、高野山霊宝館の学芸員を指導員に招いたクラブ活動を通して触れる。本物の“学び”が高野山大学にはあります。

3. “密教”を学んで就職する！—就職支援プログラム

“密教”を学んで就職する。こう聞くと不思議に思うかもしれませんが、そんなことはありません。経済産業省が定めた3つの「社会人基礎力」（前に踏み出す力・考え抜く力・チームワーク）は、“密教”を学ぶことで十分に身につけることができます。文章を読み、疑問を持って調べ、考え、発表する。こういった能力こそ、社会人として最も基礎的な、そして最も求められる能力にほかなりません。

高野山大学では、ディプロマポリシーのもと、密教学科の講義を、社会人基礎能力の育成の場として捉える

“就職支援プログラム”を実施します。高野山大学で学びながら、社会人としての基礎的な能力を自然に身につけることはもちろん、「簿記」、Word・Excelといった「MSoffice スペシャリスト」・「ビジネスマナー」などの各種講座、就職支援室などの開設を通して、学生の就職を積極的にサポートします。



高野山大学ディプロマポリシー(卒業認定・学位授与に関する方針)

1. 広範な基礎知識と基本的な学習能力を身につけ、体系的に学んだ専門的知識と方法論に基づいて、問題を探求する力、批判的思考力、問題解決力、論理的な思考力、表現力、コミュニケーション能力などを磨き、総合的に問題を解決し新たな価値の創造につなげていく能力。
2. 生命尊重の精神に基づいて人間の存在と叡智を敬い、種々なる文化の価値を創造的に理解する能力を有する学生。

経済産業省の定める「社会人基礎力」

社会人基礎力とは、「職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として、経済産業省が定義した能力のことです。

前に踏み出す力(アクション)

- ・主体性（物事に進んで取り組む力）
- ・働きかけ力（他人に働きかけ巻き込む力）
- ・実行力（目的を設定し確実に行動する力）

考え抜く力(シンキング)

- ・課題発見力（現状を分析し目的や課題を明らかにする力）
- ・計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力）
- ・創造力（新しい価値を生み出す力）

チームで働く力(チームワーク)

- ・発信力（自分の意見をわかりやすく伝える力）
- ・傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）
- ・柔軟性（意見の違いや立場の違いを理解する力）
- ・状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
- ・規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
- ・ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）